

区民会議とは。

区民会議の調査・審議によって出された提言は、より暮らしやすい地域社会を目指して、区内の関係団体などと連携しながら地域で実践されます。

区民会議による調査・審議

課題の把握

地域の状況や課題について意見交換し、整理・分析をします。

審議課題 テーマの選定

区民会議で調査審議する課題・テーマを選びます。

課題解決策の 検討

解決の方向や取組の担い手などさまざまな視点から話し合います。

審議結果を区長へ報告

課題解決に向けた取組の実践をめざし、区民会議の審議結果をまとめ、区長に報告します。

課題解決への取組

課題解決に向けた参加・協働

それぞれの役割と責任のもとで連携しながら、地域で取組を実践します。



課題解決

暮らしやすい地域社会へ

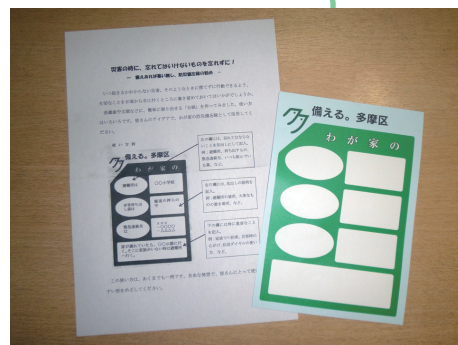
第4期多摩区区民会議提言を受けての取組。

これまで区民会議で提言されたもののうち、いくつかは事業化され取り組まれたものがあります。今号では、第4期多摩区区民会議提言を受けての取組を紹介します。

■「備える。多摩区」の作成

第4期多摩区区民会議では、「自然災害部会」において、自然災害に関する情報を周知することの必要性が提言され、その具体的な取組として、各家庭の災害時の避難場所、持ち出し品、緊急連絡先等を記入して冷蔵庫などに掲示できる「備える。多摩区」の作成が提言されました。

これを受けて多摩区では、「備える。多摩区」を作成し、多摩区防災フェアで来場者に配布しました。



■イベントカレンダー「たまりぼうと」の発行

「コミュニティ部会」からは、地域の活動やイベントに参加してもらうきっかけづくりのための取組として、イベントカレンダーの作成が提言され、多摩区イベントカレンダー「たまりぼうと」が発行されました。「たまりぼうと」は、区役所、生田出張所、市民館、図書館、登戸行政サービスコーナーのほか、地域ポータルサイト「まいぶれ川崎市多摩区」のホームページでも見ることができます。



第5期 多摩区 区民会議 ニュース

発行：第5期多摩区区民会議 事務局：川崎市多摩区役所企画課
TEL:044-935-3147 FAX:044-935-3391

VOL.1

第5期多摩区区民会議がスタートしました！

区民会議は、区民のみなさんの参加と協働により、地域の課題を自ら発見し、解決を図るための調査・審議をする会議です。2006年7月に川崎市自治基本条例に基づき発足しました。

今年度で第5期を迎え、2回の区民会議及び3回の区民会議ミーティングが開催され、委員長以下の役員を選出し、今後2年間で調査・審議を行う専門部会が設置されました。



第5期区民会議メンバーを紹介します。

区民会議は、地域でさまざまな活動をしている団体から推薦された団体推薦の15名、市民公募4名、区長推薦1名の合計20名の委員で構成されています。委員の任期は、2014年7月1日～2016年6月30日の2年間です。また、調査・審議を効果的に行うため、2つの専門部会を設けます。

※ ◎：委員長 ○：副委員長 ◆：部会長 ◇：副部会長

第5期多摩区区民会議委員

氏名	推薦団体及び活動団体	部会
○ 安陪 修司	多摩区商店街連合会	多摩区の魅力いきいき部会
荒井 精一	市民公募	多摩区の魅力いきいき部会
◎ 石橋 吉章	区長推薦	人・まち・わづくり部会
岩野 正行	多摩区観光協会	多摩区の魅力いきいき部会
小川 剛	多摩区町会連合会	人・まち・わづくり部会
◇ 国保 久光	川崎市医師会多摩区医師会	人・まち・わづくり部会
◆ 小塚 千津子	多摩区こども総合支援連携会議	人・まち・わづくり部会
近藤 清	多摩区自主防災組織連絡協議会	人・まち・わづくり部会
◆ 杉下 禄郎	市民公募	多摩区の魅力いきいき部会
高橋 謙一	多摩区・3大学連携協議会	人・まち・わづくり部会
田澤 祐信	多摩防犯協会	多摩区の魅力いきいき部会
辻野 勝行	多摩区まちづくり協議会	多摩区の魅力いきいき部会
○ 戸高 仁子	かわさきかえるプロジェクト	人・まち・わづくり部会
配島 裕美	多摩区地域教育会議	人・まち・わづくり部会
原田 弘	多摩交通安全協会	人・まち・わづくり部会
藤原 司	川崎市多摩区社会福祉協議会	多摩区の魅力いきいき部会
細埜 隆己	登戸土地区画整理事業まちづくり推進協議会	多摩区の魅力いきいき部会
◇ 矢野 久喜	市民公募	多摩区の魅力いきいき部会
山下 宏子	市民公募	多摩区の魅力いきいき部会
余湖 英子	多摩区文化協会	多摩区の魅力いきいき部会

区民会議参与

氏名
〈市議会議員〉
井口 真美
河野 ゆかり
斉藤 隆司
菅原 進
露木 明美
橋本 勝
廣田 健一
三宅 隆介
吉沢 章子
〈県議会議員〉
青山 圭一
土井 リゅうすけ

任期：平成26年7月1日～平成28年6月30日

(敬称略・50音順)

区民会議審議経過と専門部会の設置

区民会議では、多摩区の地域課題を発見するために委員や区が把握している地域課題を出し合いました。そして、出された地域課題について区民会議全体で絞り込みを行い、2つの専門部会を設置しました。

区民会議委員や区が把握している地域課題

分野	地域課題
障がい者福祉	● 障がい者の地域での見守りについて
高齢化社会に向けて	● 多摩区の高齢化社会へ向けての課題整理と取組について ● 高齢者の生きがいづくり・場づくり・仕掛けづくりについて ● 高齢者が外に出られる機会づくり、情報提供について ● 地域における高齢者の支援体制について ● 元気な高齢者を増やす取組について ● 誰でも安心して移動できる手段について
若い世代の定住促進	● 若い世代が住み続けられるまちづくりについて ● 地域での子育て環境づくり
地域の活性化	● 地域の連携、市民活動団体のネットワーク ● 地域資源を活用した地域の活性化の方法について ● 子どもの遊び場づくり ● 多摩区の歴史・文化の継承の方法について
地域コミュニティ	● 地域のつながりに関わる取組について ● 市民と行政の協働の仕組みづくり
地域防災	● 地域での防災対策の取組、自助・共助のあり方について ● 高齢者・障がい者の安全な避難について ● 災害についての情報収集の方法について ● 安全な避難場所・避難経路の確保について
景観まちづくり	● 区内を花や緑で飾る
自然の保全	● 失われていく緑を守る方法について
マナー・モラルの向上	● ゴミのポイ捨て禁止の推進 ● 自転車のマナー・モラルの向上
新エネルギー	● 官産民の協働で取組む環境負荷の少ない再生可能エネルギーの活用

地域課題の整理

分野①：障がい者、子ども、高齢者の地域での見守り

- 【審議になりそうなもの】
- 高齢者の見守りの仕組みづくり
 - 障がい者についてもっと知る
 - 障がい者施設をもっと知る
 - 誰でも障がいに関係なく活発に活動できるしくみ
 - 貧困の子どもの見守り

分野②：高齢者の生きがいづくり・場づくり・外に出る機会づくり

- 【審議になりそうなもの】
- 高齢者が外に出たくなる機会づくり
 - 元気な高齢者による子育て支援の仕組みづくり
 - 高齢者が安全に外に出られる環境づくり

分野③：子育て支援

- 【審議になりそうなもの】
- 子育てに関する取組を整理して、子育て世代がもっと活用できるような仕組みをつくる
 - 問題点を整理し解決策を検討する。

分野④：区の魅力の再発見と活用

- 【審議になりそうなもの】
- 生田緑地(古民家)、地域の伝統文化等の地域の魅力の再発掘
 - 地域の活性化につながる仕掛けづくり

分野⑤：地域コミュニティの活性化

- 【審議になりそうなもの】
- 町内会・商店会・3大学、市民活動団体等の連携とネットワーク
 - 顔の見えるつながりづくり
 - 連携・ネットワーク・つながりのための仕掛けづくり

分野⑥：地域の安心・安全を支えるコミュニティづくり

- 【審議になりそうなもの】
- 地域コミュニティ(町会、商店会、3大学等)の活性化による安心・安全を支える仕組みづくり
※前期の取組の継続・拡充

分野⑦：景観・まちの活性化

- 【審議になりそうなもの】
- 花壇の管理・運営のための担いづくり
 - 住民、商店街、地元企業、行政が協働で地域の活性化
 - 将来のまちづくりのイメージを考え共有

分野⑧：まちなかのマナー・モラル向上

- 【審議になりそうなもの】
- 路上へのゴミのポイ捨てマナー・モラルの向上
 - 交通マナーの向上

分野⑨：環境

- 【審議になりそうなもの】
- 区内に残る緑を守るための方法を検討する
 - 新エネルギーの活用

専門部会では、
これまでに出了された地域課題を踏まえて、
審議する課題を決めます。

専門部会

人・まち・わづくり部会

- 町会・商店会・3大学、市民活動団体等の連携・活性化
- コミュニティによる防災
- 顔の見えるつながりづくり など

多摩区の魅力いきいき部会

- 生田緑地、伝統文化資源の発掘・活用
- 緑の保全・活用
- 子育て支援
- 若者世代の定住 など